

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	10 05 03	中期総合計画主要施策番号	3-08,3-09	担当課	部・課	建設部河川課	
事業名	河川改修事業(公共【河川】)				内 線	3439	
					E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S7 ~	根拠法令等	河川法第9条				
実施方法	工事委託により実施					国庫・ 県単	国庫補助事業

事業の概要等	目的（必要性）	・県民の生命・財産を水害から守るため、護岸築堤等の河川改修を環境や景観に配慮して実施し、良好な河川空間の形成を図る。
	対象	指定区間内の一級河川
	目指すべき姿	・県民の生命・財産を水害から守るため、護岸築堤等の河川整備の推進を図る。 (H24 河川整備率 38.2%とする。) (H24 DID内整備率 52.0%とする。) ・水位周知河川の浸水想定区域図の策定、公表率の推進を図る。(公表率 100%とする。)
	事業内容	築堤工、護岸工等の河川整備、情報基盤整備及びハザードマップ調査等 ・広域河川改修事業（補助率：【国】1/2、【県】1/2） ・総合流域防災事業（補助率：【国】1/2、【県】1/2） ・流域貯留浸透事業（補助率：【国】1/3、【県】2/3） ・河川激甚災害対策特別緊急事業（補助率：【国】5.5/10、【県】4.5/10） ・河川災害復旧助成事業（補助率：【国】1/2、【県】1/2）

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 (H24への繰越額：1,319,996千円) 1箇所当たり平均工事期間 1年
	最終予算額 (A)	千円	6,318,380	5,539,781	3,567,600	
	決算額 (B)	千円	3,835,936	4,219,785		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	1,991,661	2,195,399	1,869,350	
	概算人件費	人	32.80	31.56	30.40	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)	千円	4,108,734	4,480,407	3,818,643	
事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 平成23年度 完了箇所数1箇所 (効率指標 算定式) 概算事業費 ÷ 箇所数
	河川整備率(活)	%	38.1	38.3	38.3	
	事業実施箇所(活)	箇所	25	24	23	
	浸水想定区域図の公表率(活)	%	100	100	100	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 1箇所あたりの事業費	千円/箇所	164,349	186,684	166,028	

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価	評価区分
	・平成23年度の河川整備率を38.2%、DID内整備率を51.2%を目指す。 ・浸水想定区域図の公表率100%に伴い、市町村が作成するハザードマップの公表率の促進を促す。	・河川整備率(要改修区間延長のうちの改修した河川延長の割合)を38.3%に増加させた。また、DID内整備率は、51.0%に増加した。 ・激特事業について平成23年度に事業が完了となった。 ・ハザードマップの公表率が100%になった。	b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定 の 説明	・河川沿いの住民の生活と密接な関係であるため、治水、水辺環境整備に対する要望等は依然として強い。 ・河川法においてその整備、管理を県が行うものとされている。 ・引き続き事業のコスト縮減を図り、有効性・効率性を高めることに努める。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・治水及び水辺環境整備に対する住民要望は強く、早期に治水効果を発現させるため、効率的で重点的な予算配分を進めていく必要がある。 ・環境、景観等の面で幅広く住民の意見を聴取し計画に生かしていくなど住民参加を一層進めていく必要がある。
	特記事項	